

会長からのご挨拶

2025 年 6 月の定時社員総会及び理事会にて公益社団法人全国上下水道コンサルタント協会会長に選定されました中西新二でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

当協会の会員である上下水道関連のコンサルタント会社（以降「水コンサルタント」）は、上下水道の普及整備のために 1950 年代に誕生しました。上下水道に関する技術の向上等への活動を通じ、上下水道事業の進展に尽力するとともに、時代の変化や社会のニーズに応じて、設計から調査、計画、維持管理などへと業務領域を広げてきました。PPP/PFI（ウォーターPPP）では、上下水道事業そのものへの関わりも増えてきました。

当協会は、各地区で設立された上下水道コンサルタント協議会が連合会となり、さらに協会へ発展し、1985 年 4 月に当時の厚生省と建設省の許可を得て社団法人になりました。その後一般社団法人を経て、2018 年 4 月には、公益社団法人に移行しました。これは、これまでの水コンサルタント業界の地位向上への当協会の活動が、上下水道という重要な社会インフラ（以降「水インフラ」）を支える職業としての公益性が認められた結果だと思っています。このような変遷を経て、当協会は、本年 4 月に設立 40 年を迎えることになりました。多くの関係者のご指導とご支援に感謝申し上げます。

当協会の前ビジョン（AWSCJ Vision2015-2025）では、「これからの上下水道サービスの担い手としての挑戦」をスローガンに活動にしてきました。経営環境が厳しい逆風の時期でありましたが、水コンサルタントが新たな役割を担おうとする気持ちを示したものでした。新ビジョン（AWSCJ Vision2025-2035）では、「地域社会の持続を支える水インフラマネジメントの実践」をスローガンに活動することにしました。これまでの挑戦から実践へとステージを上げて、水インフラのマネジメントに主体的に関わっていくことを示しました。

水コンサルタントは、人材が一番重要な経営資産です。水インフラの持続発展に貢献しているやりがいのある職業であること、働き方改革が進んだ職場であることを発信し、人材確保のため社会の認知度を向上させる必要があります。そのため、若い世代への水コンサルタントの職業 PR のため広報戦略を策定しました。今後、水インフラに関わる人材確保のための広報活動を推進します。人材育成、技術力の向上、品質の確保、生産性の向上、ウェルビーイング経営の推進にも取り組みます。また、人材確保も含め、関係団体との連携強化も重要になります。

水コンサルタントの健全な発展が、水インフラの持続発展に貢献できると確信しております。引き続き、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2025 年 6 月

公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会
会長 中西 新二